

編集・発行：◎倉敷芸術科学大学図書館 (〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦 2640 TEL.086-440-1181 FAX.086-440-1182)

編集・発行責任者：館長 時任 英人 (学部教授)

館報は図書館ホームページでも読めます。http://www.kusa.ac.jp/lib/MAIN.HTML



題号の由来

孔子と弟子たちの言行を収録した『論語』の「子曰、『学而不思則罔。思而不学則殆。』(「先生が言われた、『学んでも考えなければ、はっきり理解できない。考えても学ばなければ、確かなものとならない』」の意)による。読みは日本語の音読みとした。初代学長故谷口澄夫先生の筆による。

平成16年度から図書館長に就任しまして日々図書館がどのような仕事をしているかというところについて、それなりに勉強させていただきました結果、多くの問題があることが分かってきました。単に「知の宝庫」としての図書館の変化ということを理解するのであれば、前図書館長の「図書館が変わります」(「館報」第10号)という記事から可能でした。とくに、この記事の中でもっとも印象的だったのは、図書館でもIT革命が進捗しているということでした。しかし、問題はこれだけではありませんでした。日々の図書館の業務は、想像していたよりも複雑でした。大学の図書館が学生には日々の講義のなかで求められるレポートの作成や、卒業論文の執筆、そして教員には日々行っている学術研究などを効率よくサポートすることを主な仕事としていることは分かっております。ですから、図書を出したり、貸し出すための図書の情報を即座に提供したり、または他の図書館が所蔵する雑誌記事や論文を、Webなどで検索して速やかに取り寄せたり(実際、私は個人的にこのことにお大変お世話になっております)、その迅速性にいつも感心していましたが、また図書の購入や管理が図書館の仕事だと思っておりました。

しかしながら、実際は、このようなことを維持するためには、その背後に対処しなければならぬ多くの仕事があるというところが理解できませんでした。それは、それぞれの利用者の要請に応じた対応をする必要性から生じるものなのですが、このことは実は図書館の仕事を増大させるため、スタッフの仕事量を増やしてい

# 図書館長に就任して



図書館長 時 任 英 人

るようです。次の大きな問題は、図書館の限られた予算で教員や学生にの要望に十分に答えられないという事実です。近年、雑誌・図書の値上りが原因で、STM(science, Technology & Medicine)関連の洋雑誌の高騰化には著しいものがあります。ですから、日本の大

学は所蔵品を減らして、電子ジャーナル化を進めており、このことはその利便性ゆえに島根大学のアンケートでは75%もの支持を得ているほどです。しかしながら、その一方では次のような問題を持っています。①価格は印刷物よりも若干安いものの価格の高騰率は同じだということ、②理科系に対して文科系は進捗

してないということ、③契約が切れると必要な時にバックナンバーを閲覧できないという事です。このような問題を抱えつつも、電子ジャーナル化を本館でも進めていかなければならない時期が近づいているように思われます。また、電子ジャーナル化を推進する一方では、いかにIT時代とはいっていても、や

## 「倉敷芸術科学大学・臨床検査研究所」 「加計学園細胞病理学センター」 スタート

生命科学部・生命科学科教授

所 長 大 野 英 治

大学の責務は、社会に貢献し得る人材の輩出にあります。今般本学では、世界に通じる細胞検査士の養成を目的に学内に「加計学園細胞病理学センター」を設置いたしました。受講対象者は、生命科学

部・生命科学科の臨床検査コースの学生の中で、特に人格・成績共に優秀な学生と定めています。細胞検査士とは顕微鏡下で患者様からの細胞を観察し、主に痛の良・悪性の判断を下す医療専門職です。日本臨床細胞学会の主催する認定試験に合格することで、資格が授与されます。現在細胞検査士養成大学は、北里大学医療衛生学部、杏林大学保健学部、山口大学医学部、群馬大学医学部及び昨年11月に認可された本学の5大学です。この教育は本学にとり全く新しい試みなので、教育を実現する為の新規設備が用意されました。それが、2004年春にキャンパス内にオープンした23号棟であります。こ



はり図書館の使命の一つであります。学生が常に使用する図書・雑誌も充実させる必要があります。そのためには、利用者の要望もよくお聞きしまして実行する必要があります。以上のような諸問題は、本館のみではなく、全国の大学図書館が直面している問題ですので、どこでも苦慮されているようです。これから私でもできるだけこのような問題を解決するために、スタッフとともに努力していきたいと思っております。

の棟は複合ビルディングであり、大きく分けて二つの機関から成ります。下記にその詳細を説明いたします。

棟の1、2階は「倉敷芸術科学大学・臨床検査研究所」として機能しており、主に臨床検査技師を目指す学生が実習を通じ資格試験に合格する実力を付けるための施設とお考え下さい。経験に基づく教育を実践すべく最善の環境を用意したとスタッフ一同が自負しております。

棟1階の「顕微鏡室」では各学生に2台の顕微鏡が割り当てられ、一度に4人の学生が教官と同じ標本を同時に覗くことのできるティーチング・スコープと液晶の大画面に標本像を拡大投影できる観察システムが完備されています。

これらを用い、実際の標本を観察・解析するという実体験型の解剖学・病理組織学教育が実現されます。生理学のような基礎科学から種々の生化学的解析に基づく臨床検査に関連する実習までを通して行なう「大実習室」も、1階に用意されています。なお倉敷芸術科学大学は特徴的な教育として、現代医療に欠かせない細胞培養の知識と実地体験を提供するプログラムを用意しています。その為に用いる「細胞培養室」と「細菌培養室」も、この階に用意いたしました。

2階は臨床関連の実習に特

化した設備を集中させ、最新の機器を用意することで技術革新の激しい診療現場に対応し得る人材の輩出を目指しています。

3、4、5階は「加計学園細胞病理学センター」で、中でも3階は4年次より希望と成績に従い選抜された細胞検査士の資格取得に挑む学生の為に用意されました。前述のように倉敷芸術科学大学は、細胞検査士と臨床検査技師のダブルライセンスが可能で、全国で5番目の大学機関です。規模・設備および教育に関しては最高レベルのものを提供する環境が、ここには用意されています。

棟の3階までが教育施設であるのに対して、4および5階は最新設備を擁する研究施設と資料を集積する部屋から成っており、再生医療および細胞病理学をテーマとする基礎研究を行なう為に作られました。最新の科学的知見に基づく研究を行なうことから、現場で働く医療専門職に対する情報フィードバックを行なうことを将来的に目指しています。



# 『児島虎次郎研究』と

## 『日本とベルギー4世紀にわたる交流』

### 発刊に寄せて

芸術学部助教授

松岡 智子

最近、執筆した2冊の著書について紹介させていただきます。

1冊目は、2004年12月に出版された『児島虎次郎研究』(A5版、図版入り554頁、中央公論美術出版、定価12,600円)。本書は、

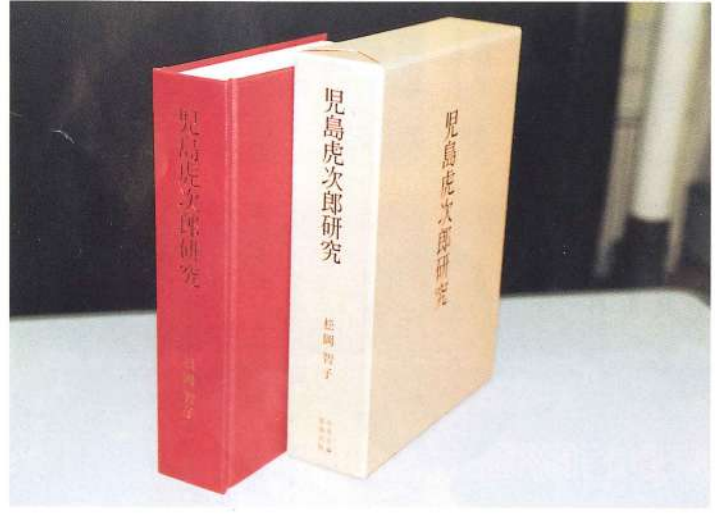
一昨年6月、母校である東京大学大学院人文社会系研究科に提出した博士論文に若干の加筆修正を行ったものです。旧岡山県成羽町(現高梁市)の洋画家児島虎次郎(1881-1929)は、日本初の西洋近代美術館である大原美術館の基礎となったコレクションの収集を行ったことで、これまで知られてい

ました。本書では、新史料に基づき、美術品収集家としてだけでなく、文化交流者の3つの視点から児島を日本近代美術史のなかに位置づけることを試

みています。画家としても、これまで漠然と「日本の印象派」とされてきました。しかし、その足跡をたどってゆくと、20世紀初頭のベルギーでフランス印象派や新印象派などを受容して独自に展開した画風「リュニスム」が見られ、児島の3度の渡欧のうち最初の留学中に会ったエミール・クラウスらベルギーの画家たちの影響が大きかったことを指摘しています。

2冊目は、2005年3月に刊行予定の英語版の共著『日本とベルギー 4世紀にわたる交流』(A4変型版、図版入り400頁、ベルギー政府コミッション・オフィス、定価1万円)。ここでは先に挙げた『児島虎次郎研究』で論じた児島虎次郎とベルギーの画家たちの交流

に関する内容の一部を紹介しています。本書の刊行は、同月の「愛知万博2005」の開幕に合わせ



せて、同万博に参加するベルギー政府がこのプロジェクトの一環として起案したものであり、J・F・ドラオー前駐日公使が推進し、ベルギー20名、日本11名による共同執筆により、過去400年にわたる、文化・経済・政治など幅広い分野による両国の歴史的な関係を網羅することを目的としています。執筆者のひとりとして、これを機に、私自身も親しみをもち、また、かつて児島虎次郎も留学したベルギーと日本との友好の絆がさらに深まることを願わずにはいられません。



**若冲の魅力**

芸術研究科 美術専攻

1年 森本亜希子

私は、日本画で鳥をモチーフとした制作をしているが、鳥を描いた先人を調べているうちに、伊藤若冲に出会った。最初に、画集で《群鶏図(ぐんけいず)》をみて、鶏の力強さと、色彩の洪水に圧倒された。そして、若冲のことをよく知りたいと思い、本を何冊か購入した。その中で、狩野博幸「目をみはる伊藤若冲の『動植綵絵』アートセレクション」(小学館 2002年)という本をおすすめしたい。



この本は若冲の傑作「動植綵絵」三十幅を中心に構成されており、若冲の画業をよく知ることができる。絵には一枚一枚説明がついているし、途中には絵の部分拡大図がついているので、細部までを見ることができておもしろい。この本によると、江戸時代中期の画家、伊藤若冲は京都錦小路の青物問屋の跡継ぎとして生まれるものの、絵の道

に専心するため家督を弟にゆずって、生涯独身で作画を続けている。そして、鮮やかな色彩と装飾性に満ちた独自の画境を開拓した。また、自宅の庭に鶏数10羽を放して観察、写生をしている。鋭い観察眼から生まれた「動植綵絵」は、花鳥画の傑作である。

私は、この本で若冲のことをよく知ることができ、また、細部のタッチまで知ることができて、とても勉強になった。若冲の絵は、現代の私たちがから見ても斬新なところがあるが、そこが若冲の魅力ではないだろうか。私もそういうものを目指して制作を続けていきたいと思う。

私は少しの文章を書くのにも戸惑ってしまい、書いているうちに何だかよく分からなくなり、あまり上手に文章を書くことができません。本は何冊か読んだことがありますが、多分そのほとんどが授業の内容などで必要な教科書です。図書館に来ると改めて本が

たくさんあるなと思います。少しの文章を書くだけでも迷う私には、本にすぎないことだと思います。本を1冊書き上げるということは大変なことだと思います。反面、こんなに書き上げられたものがあるのだな!と

感じています。その1冊の中に自分が研究したものが詰まっていたり面白いです。そして、その1冊に出会って、自分の知識が増えたり、考えが変わったり、何か感じたりします。触発され何かを作ったりすることもあります。そうやって本に出会うことで、自分を広げていくことができるので、たくさん本を読んできていきたいと思っています。自分なりのやり方で本から得たものを表現できれば嬉しいです。

他の人から見ると、とても変な方法であり、あまり想像もつかないと思う。うまく言葉に出来ないが、簡単に言ってみればパラパラと本のページをめくって読む事と似ている。どのようなことかと言えば、気に入った本を読む時は、文章にしても絵や写真にしても、まず私の一番気に入る箇所を探す。気に入った箇所を見付けると、その部分を重点

的に見る。または読む。後は勝手に自分の想像をその部分を見てふくらませる。時には、その気に入った部分を参考に絵を描いたり、日常生活での悩みの解決策のヒントにもなる。こうして私は本を見て楽しんでる。こうしていると、まるで小さい頃、絵本を読んでいたその絵本とは別に、自分で新たに話を作った喜びを思い出す。改めて考えてみると、私は今も昔も変わらない。本を読

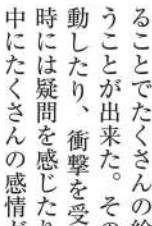
む方法は変わったが、楽しむ方は変わらない。本が好きだという事が今も本が私を読み続ける大きな理由の一つであると思うが、このようにその時の自分に合わせて読み方を変える事も、私に大きな影響を与えていると思う。私はこれからも、この読み方で本を読みつつ、また新しい本の読み方をするだろう。皆さんも自分に合った本の読み方を、見付けてみてはいかがでしょうか。



**本を見る楽しさ**

芸術学部 美術学科

1年 田中 麻菜



**広がる世界**

芸術学部 美術学科  
1年 福田 茜

私は毎日しなければならぬ事が多く、なかなか本を1冊読むという時間がない。電車やバスの通学時間に読む事も出来るのだが、私は乗り物酔いがひどくとても読む事は出来ない。しかし、私は小さい頃から本を読むのが好きだ。それは今でも変わらない。そこで私は本を読むのではなく、本を見るという読み方を始めた。

図書館は私にとって絵の宝庫だ。美術品や絵に関する本を見ることが出来る。その中で感動したり、衝撃を受けたり、時には疑問を感じたり、私の中にたくさん感情が生まれた。そして、たくさん絵を見ることにより今後の自分の作品により意味で影響がでてくるだろうと思っている。その意味で図書館は絵の宝庫だったり、話(ストーリー)の宝庫だったり、またそこには数えきれないほどたくさんの人達のさまざまな世界が広がっているのだろう。

本の影響というものはすごいものであり、1冊の本で喜怒哀楽の感情を持ったり、時

には自分の根本的な考え方で変えてしまうこともある。そして本を読み、本から学び、さまざまな事を得たり感じたりすることで自分の世界は広がっていくと思う。



### 知は力なり

生命科学部 生命科学科  
1年 浜田 佳典

これから私はどんな本に出  
会っていきけるのだろうかと思  
うと楽しみである。

私はみなさんに、もっと図  
書館を利用してほしいと思っ  
ています。フランス・ペー  
コンが言った「知は力なり」と  
言う言葉があります。知識が  
なければ、他人の意見に振り  
回され、また自分の人生の幸  
福も他人の意見に左右されや  
すくなります。他人の意見に  
従って不幸になったとき、そ  
の原因を他人や環境のせい  
にして、愚痴や不平不満を言  
う人がしばしば見受けられま  
す。学問において問題を解決す  
る能力とは「知識と経験」で  
あり、その知識と経験を手に  
入れる方法の一つとして「読  
書」があります。とくに読書  
によって得た知識は重要であ  
り、かつ役に立ちます。なぜ  
なら、優れた方の知識や経験  
を手に入れることができるだ  
けでなく、自分と違ったもの

の前方や考え方を発見し、目  
の前の問題の解決の助けとな  
るからです。したがって、た  
とえ困難な問題であったとし  
ても、読書によって得た知識  
が多いほど、その問題を解決  
する可能性が高くなると考え  
られます。  
知識を得る前提として最も  
大切なことは、「興味」だ  
と思います。興味があれば、や  
る気も起こり、自ら熟考し考  
えぬく助けとなります。しか  
し、興味がなければ、やる気  
が起こらないどころか、せつ  
かく得た知識もいつかは忘れ  
てしまうものです。  
みなさんも、図書館で興味  
をもって読書を通して自分で  
考えぬく力を鍛えてみてはど  
うでしょうか。努力して得た  
知識はきつと自分の力となる  
ことでしょう。

### 「読書」はいかがですか？

生命科学部 生命科学科  
1年 安部多江子

私は図書館をよく利用して  
います。閉館や長期休暇で家  
へ帰る時以外は毎日来ていま  
す。理由は、図書館は居心地

が良いからです。  
私達の大学は、山の上に建  
てられているため、席によつ  
ては瀬戸内海を眺めることが  
できます。また、館内では冷  
暖房によって気温が調節さ  
れ、利用者は大学内の人達が  
大部分ということもあり、落  
ち着いた空間となつていま  
す。つまり、とてもんびり  
できるということです。勿論、  
規則は守らないといけません  
。もし、友達と話をしてい  
て、それが度をこした場合は、  
放送で呼び掛けられたり、司  
書の方から直接注意をされる  
時もあります。  
図書館でのんびりと過ごし  
たければ、原則として、他の  
人の迷惑になることは避けな  
ければならないということだ  
と思えます。これは図書館に  
限らず、美術館や博物館、映  
画館でも同じことです。  
次に、他の人に比べると、  
私は本は読む方ですが、「本  
をよく読んでいない」というと  
ころまでは達していないと思  
います。本を読んでいると思  
い議と、心が落ちついてきま  
す。そこから徐々に話の中に  
入り込んでいきます。例えて  
みるならば、映画です。映画  
を見る前はワクワクしていま  
すが、カウントがあつて映画  
が始まると、自然にスッと落  
ち着き、そのまま物語の世界  
に入り、終わった時にはなに  
かしらの達成感を得られるも  
のです。  
本を読むとは、これと同じ  
ことです。私は、読書とは想  
像力と創造力を養ってくれる

ものだと思えます。まず、こ  
の二つの言葉から皆さんが思  
い浮かべるのは芸術家や作家  
ではないでしょうか。私も、  
この二つの言葉からは、彫刻  
家の人を思い浮かべます。自  
分のイメージしたものを、つ  
まりは想像したものを、なん  
らかの形に表現する。これが、  
彼らの思いであり、行動では  
ないでしょうか。そして、先  
ほど述べた表現することが創  
造することでしょう。  
しかし、この事は彼らだけ  
の事だとは思いません。「兄  
童虐待」とは、私達がよく耳  
にする言葉です。父親や母親  
からの虐待が多く見かけられ  
ます。この様な人達の虐待理  
由には倫理観のかけらもあり  
ません。望まない妊娠などが  
ら生じた悲惨な結果です。  
私は読書は想像力と創造力  
を養うのだと述べました。も  
し、この親達が「生命」とい  
うものに対して深い想像力と  
理解があれば防ぐことができ  
たはずですが。  
「生命」のことを理解した  
ければ生命科学関係の本を、  
「倫理」については文系の本  
を読むことだと思います。私  
は、この事を念頭に置きなが  
ら両分野の本を読むように心  
がけています。  
以上、述べてきましたが、  
私もまだまだ未熟者です。今  
回の「学而思」の原稿をきつ  
かけとして、本を沢山読み、想  
像力と創造力を養い、両方を  
コントロールできるよう努力し  
ていきたいと思っています。  
皆さんはどうですか。



### 読書の必要性について

国際教養学部 教養学科  
2年 丁 ジョン  
ヒョン+

知恵と知識は別のものでは  
あらず、と良く耳にする。  
まず、知識とは、ある範囲  
の事柄について知っているこ  
とや内容である。そして、知  
恵とは自分が今からしようと  
している作業に必要な知識が  
どこにあり、どうやって使え  
ばいいのかを判断し的確に処  
理する能力である。  
ここまで聞いたなら、知識よ  
り知恵の方が大事ではない  
か、と思う人もいるであらう  
が、それは違う。そもそも自  
分が必要とする情報がどこに  
あるのかという一連の判断を  
するために、まず知識が必  
要なのだ。知恵は知識を基盤  
として成り立っており、知識  
は知恵によってその輝きを発  
することができる。

知恵と知識、どちらとも重  
要である。知識なしでは知恵  
は働かず、知恵なしでは知識  
は輝きを発することは決して  
ありえない。この二つを両立  
させるためのもっともいい手  
段がすなわち読書である。  
論争が長くなると、「考え  
方の違いだから、仕方がない」  
と言い出し、すべてを片付け  
てしまおう人がいる。確かに、  
この世の中にはいろんな考え  
方が存在し、そのどちらが正  
しいかを見極めるには大変な  
労苦がともなったりする。ま



# 近隣文化施設訪問記

## 津山科学教育博物館

レポーター 国際教養学部 3年 眞野 哲旭  
教養学科



毎年春になると鶴山公園の豪壮な石垣に桜の花が咲き誇り、津山の街は多くの見物人で賑わいます。低く軒を連ねた町並みやレンガ造りの洋風建築は明治期の情緒をしのばせ、訪れる人々の心を和ませます。

津山科学教育博物館は鶴山公園の正面入口に位置し、歴史を感じさせる外観は周囲の景観にとけこんでいます。1963年に自然博物館として



開館し、主に世界の希少動物のはく製を中心としたコレクションを約24,000点所蔵しています。ハチドリからホッキョクグマなど大小さまざまな約850種の動物がジオラマの中に展示され、一部の動物は実際に手で触って感触を確かめることもできます。展示室は13室もあり、ひとつ部屋を進むごとに発見と驚きが待っています。私が興味深く思ったのは絶滅の恐れがある動物や国の天然記念物となつていて動物が多数展示されていること

です。開館当時は動物のはく製を収集する博物館が珍しく、また絶滅の恐れのある野生動物を保護するワシントン条約が日本で発効される前であったため、このように数多くの希少動物の収集へとつながったそうです。この博物館に

## 津山科学教育博物館 案内図



は動物のはく製のほかに蝶、昆虫類、貝類、鉱石類、化石類、植物の標本、それに電話交換機などの理工学品も多数展示されていますが、中でも注目を集めるのが人体臓器標本の展示です。臓器はこの博物館の創設者が提供したものであり、その遺言書も併せて展示されています。国内の博物館における展示では初めての試みであり、充分に検討を重ねて認可された貴重な資料であることがわかります。また、学術貢献に対する創設者

の熱意を感じとることができ、この博物館の創設者である故・森本慶三氏は敬虔なクリスチャンであり、講堂や図書館、高等学校の設立を手がけ津山の教育普及活動に大きく貢献しました。その精神をうけて津山科学教育博物館は現在、学校と地域との連携・交流をすすめる社会教育の場としての役割を担っています。私は今回の訪問で博物館を「本知識の宝庫」と感じ、教育と博物館の関係の大切さにも気がつきました。貴重な経験ができました。津山に行かれる機会があれば一度立ち寄っていただきたい博物館だと思います。

任の着 04.4  
さんな  
のな  
しを  
くを  
ろし  
よ

図書館事務室主任 谷本 康子



この度、図書館勤務となりました。以前の勤務部署は就職部でした。そこで私は、大多数の学生の皆さん方にとって、大学生生活は学生最後の生活の場であり、卒業後は実社会に出て働くといったケースがほとんどだ、ということを感じしました。

特に、一般常識の知識は不可欠ですので、新聞は必ず毎日読まれることをお勧めします。図書館では国内外の新聞が多種類揃っており、皆さんの利用をお待ちしております。

まず、社会人への第一歩として、即「就職試験」という難関を突破しなければなりません。常日頃から何の準備もしないで、時すでに遅し。の事態になりかねなく、こうしたことを避けるため、自分自身の性格や適性をよく知っておくことが大切であり、また同時に学問等の知識や技術の習得も必要で

大学図書館は、大学の中では最も重要な機関に位置し、一般的な教養はもちろんです。が専門的知識が得られることを目的としています。在学中に培われた精神や学問が、社会に出てから十分に生かされるよう、図書館員は皆さんにできる限りの応援をしたいと思います。最後に、若い皆さん方が、自分の将来をしっかり見つけ、よく考えて努力されるように、と常に願いつつ勤務させていただいております。

# 倉敷芸術科大学生諸君!

直木賞作家

てくね たつろう  
出え根達郎



本は読むものであり、見て楽しむものである。食べるものでもある、と言ったのは、私の仲間だが、彼は古本屋を営んでいるので、確かに本は飯の種に違いない。

本は飾りものでもあり、置物でもある。墓場でもある、と言ったのは、これもまた仲間の古本屋だが、書棚に並ぶ古書の作者は、大半が故人である。してみれば書物は、墓標というわけだが、どうせなら、「知の墓場」、もしくは、「知の墓標」と言ってほしい。

私の友人は、いつも必ずバッグに、本を二、三冊詰めて持ち歩いている。その本の一冊は、彼が愛好する文庫の詩集である。これを持ってしていると、何

か安心なのだそうである。友人にとつて、本はマスコットなのだ。

マンガ家の手塚治虫は、創作にいきづまると、書店に駆け込んだらしい。書棚の本のタイトルをながめているうちにインスピレーションを得る、と語った。手塚治虫には、書名が発想の原

## 書物の「気」

動力であったわけだ。タイトルを三つ読むと、たちどころに一篇の物語を作れた、という伝説がある。私たちが凡人には真似したくてもできないわざだ

が、しかし、この天才の行動だけは、真似できる。創作のインスピレーションは無理だが、別の、ある何かを得ることがある。何か、とは慰めてあり、励ましてある。いや本当、仮りにあなたが不快な目にあつたとする。書店でも図書館でもよろしい。駆け込んで、しばらく書棚をぼんやりと眺めてごらん下さい。不思議なるかな、いらいらした気分が徐々に治まってくるはずである。

本は読むだけのものではない。活字以外からも、ある「気」を発しているのである。葉のような作用をする不思議な「気」である。

書店や図書館に入ると、気分が落ち着くのは、この作用による。読まなくともよい、自分の気に入った本を傍らに置くだけで、あなたは読書以上の有益なものを確実に得るに違いない。嘘と思つたら、試してごらん下さい。

### 「図書寄贈者(個人)」

図書の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

- 河野昌晴 藤岡 進
- 浅見 薫 船倉武夫
- 武智 秀夫 吉安克彦
- 八塚 進 矢貫 昇
- 直江 俊雄 村上良子
- 佐藤 恒夫 中島千波
- 浦上 新一郎 赤木恒雄
- 福田 彰浩 神原正明
- 高橋 秀 平野重光
- 田中 秀松 瀧脇 千恵子
- 西田 小百合 奥田 美知子
- 坂口 卓也 鈴木 陽之助
- 大野 英志 佐藤 恭江
- 長瀬 洋一 池田 陽子
- 中西 浩二 奥谷 直己
- 山地 秀俊 生谷 吉男
- 西田 幸司 森元 辰昭
- 渡辺 さよ 草野 圭弘
- 山下 景秋 中村 千枝子
- 井上 弘行 古谷 英一
- 天野 淳一

(右敬称・書名略、寄贈順、お名前の方にさせていただきます)

## 図書館

### 忙々日誌

04 3月▽23 学位記授与式

4月▽1 人事異動、(出) 生谷吉男館長、木村清則課長、飯田康朗(入) 時任英人館長、谷本康子主任

▽5 入学宣誓式

▽9 岡山県大学・短期大学図書館協議会発足に伴う第四回検討委員会(松葉室長代理)

▽22▽23 第五十二回中国四

国地区大学図書館協議回総会出席(時任館長・松葉室長代理)

5月▽24 岡山県大学図書館協議会平成十六年度第一回研修委員会出席(渡辺館員)

6月▽11 私立大学図書館協会二〇〇四年度西部地区部会総会出席(時任館長・松葉室長代理)

▽9 第一回図書委員会開催

▽21 岡山県大学図書館協議会平成十六年度第一回総会出席(松葉室長代理)

▽29 岡山県大学図書館協議会平成十六年度第二回(通算二十二回)研修委員会出席(渡辺館員)

7月▽26 平成十六年度岡山県図書館協会総会出席(松葉室長代理)

8月▽25▽27 平成十六年度大学図書館司書主務者研修会出席(松葉室長代理)

9月▽3 津山科学教育博物館へ図書館報記事取材(時任館長)

▽17▽18 第六十五回私立大学図書館協議会総会・研修大会出席(松葉室長代理)

10月▽30▽1 第三十四回私立大学図書館協会中国・四国地区研究会出席(渡辺館員)

▽6 第二回図書委員会開催

▽9 私立大学図書館協会主催、二〇〇四年度西部地区部会研究会出席(國正館員)

▽18▽19 第四十五回中国四国地区大学図書館研究集会出席

11月▽8 岡山県大学図書館協議会平成十六年度第三回(通算二十三回)研修委員会出席(渡辺館員)

▽11 平成十六年度岡山県大学図書館協議会第一回研修会出席(渡辺館員)

▽17▽18 第十一回医学図書館研究会へ参加(松葉室長代理)

▽24▽26 第六回図書館総合展参加(近藤館員)

3月▽3 広島大学図書館・九州大学付属図書館ジョイント・シンポジウム出席(渡辺館員)

